

臨時号

～夢と希望のわが母校～

【本校の教育目標】

- 元気な子
- 思いやる子
- 考える子



春風ちゃん



光春小だより

練馬区立光が丘春の風小学校 校長 内木 勉

R3.12.22

〒179-0072 練馬区光が丘7-2-1

Tel 3976-5861

Fax 5383-3592

東京都 児童・生徒の学力向上を図るための調査 結果の概要

昨年度までの調査は、5年生が国語や算数といった教科の問題を解いていくものでした。今年度は、4～6年生がタブレットを使用してオンライン上で学習に関する質問（70個弱）に回答するというものになりました。

このため、昨年度との比較や教科ごとの理解の定着具合などは測ることはできません。そこで、ここではいくつかの質問を取り上げ、児童の回答状況からその傾向（東京都全体との比較を含め）についてお知らせしたいと考えます。

※グラフは小数点以下を四捨五入しています。⇒合計が100%にならないこともあります。

また、数字を見やすくするため、1や2の幅が同じになっています。ご了承ください。

- 1 自分で感じている理解度 グラフは左より「よく分かる」、「どちらかと言えば分かる」、「どちらかと言えば分からない」、「分からない」の順です。

国語	春風小 都	42	50	6	1
		49	43	6	1
社会	春風小 都	47	45	6	1
		53	37	8	2
算数	春風小 都	56	33	10	1
		57	33	8	2
理科	春風小 都	59	35	5	1
		59	34	6	1

都の値と比較しますと、「よく分かる」と回答した児童の割合が少ない傾向です。「どちらかと言えば分かる」を合わせますと、都とほぼ同じ割合になります。

一見しますと、春風小の児童の理解度が低いような心配もあるかと思えます。しかし、前回配布しました6年生の全国学力調査の結果からは、全国と都の結果を大きく上回っています。これらからは、分かっている・ほぼ分かっているのに今一つ自信をもてない児童がいる、目標が高く自分に厳しい児童が一定割合いる（塾などで自分よりできる児童がいることを感じている児童がいるなども考えられます）、といったことが考えられます。

学校としては、授業の工夫・改善により児童の理解度を高めるとともに、努力やよかったところを認め・褒めることで自信や自己肯定感を高めたいと考えます。また、ご家庭でも返却物や作品、ノートなどをご覧になる際を機会として努力や成長を共有し、認め・褒めることで次への意欲を高めるきっかけとしていただけますようお願いいたします。

- 2 学習の進め方 グラフは左より「当てはまる」、「どちらかと言えば当てはまる」、「どちらかと言えば当てはまらない」、「当てはまらない」の順です。

学習の進め方は全部で16の設問がありますが、ここでは3つを取り上げます。

- ① 確実にできるようになるまで、くり返し練習している

春風小 都	17	40	35	8
	20	43	28	9

- ② 学習してもできるようにならないときは、学習の方法を変えている

春風小 都	27	33	27	12
	27	37	25	10

③ 答えだけではなく、考え方も確かめながら学習している

春風小	3 4	4 2	1 8	6
都	3 7	4 0	1 8	6

①は、できるようになりたいという意思や持続力についての設問です。都の平均値と比較しますと低く、学校として学習意欲の持続・くり返しの方法など課題を感じます。

②は、自分の学習方法を最適化していくための考え方の柔軟性、自己改革力についての設問です。自分の学習方法を変えることは大きなエネルギーが必要で、なかなか踏み切れないものです。とは言え、同じ学習方法では学年が進むにつれ成果につながらないこともあります。学校では、進級などの機会をとらえ児童に学年に応じた学習方法を伝えたり、保護者会で皆様に難しくなる学習への対処について例示や家庭でのご協力をお願いしたりしています。また、一人一人には、授業の様子やノート、テストなどから状況をつかみ、助言をしています。ただ、その具体策がどうも…という時には個別に相談いたしますので、お声掛けください。（児童からも歓迎します）

③は、理解を着実にするための学習の要素（のうちの一つ）を満たしているかという設問です。グラフからは、考え方も確かめながら学習している児童が3/4います。換言しますと、1/4の児童が答えばかりを気にしたり、特に考え方を確認せずに学んでいることとなります。学校では、授業において考えを深めるために意見を交換する時間を設けたり、少人数で相談したりする時間を設けたりしています。加えて、授業の終末に考え方の確認を行っています。調査結果の向上を目指し、より効果的に児童に伝わるよう、授業の改善に努めます。

3 家庭学習について 1日の家庭（塾を含まず）での学習時間とその内容を尋ねています。

① 学習時間 グラフは、左から2時間以上、1時間以上、30分以上、30分以下、全くない、です。

春風小	1 5	2 6	3 0	2 4	6
都	1 9	2 6	3 2	1 7	7

② 学習内容 グラフは、左から「当てはまる」、「どちらかと言えば当てはまる」、「どちらかと言えば当てはまらない」、「当てはまらない」の順です。

ア 教科書を読むなどして、授業でこれから学習することの見通しをつかむようにしている

予習 春風小	2 5	3 0	2 6	1 9
都	2 5	3 1	2 6	1 8

イ 教科書やノートを読み返すなどして、授業で学習したことを振り返るようにしている

復習 春風小	2 4	3 5	2 6	1 5
都	2 7	3 2	2 5	1 5

ウ 教科書やドリルの問題に取り組むなどして、学んだことを確実にできるようにしている

習熟 春風小	3 0	3 7	2 5	8
都	3 3	3 8	2 1	8

エ 学習した内容について、疑問に思ったことや興味をもったことを調べるようにしている

発展 春風小	2 9	3 3	2 6	1 2
都	2 9	3 3	2 5	1 3

①の学習時間についてです。都に比べますと30分以下の児童の割合が多いです。ただ、30分以下の児童の中には、放課後学校以外で学んでいる児童もいます。学校以外の学習時間については、都よりも多い傾向で、6年生になるとより多くなる傾向です。どちらにしても、自分自身（自分の意志で）で机に向かうという習慣が大切です。

②は、家庭での学習内容についてです。予習、復習、習熟、発展の内容別にどの学習をしているかを尋ねています。ただ、何にどのくらいの時間を配分しているかは不明です。

全般的な傾向としては、習熟（ドリルなど）、発展（タブレットの活用など）、復習、予習の順で少なくなっています。復習より発展が上回ったのは、タブレットの配布と使用の習熟が大きな要因と思います。児童の興味・関心を生かしながら発展的な学習を進めることは大切ですが、学校と家庭でタブレットの安全な使用について連携していきたいと考えています。